



うちゅうた RDAバージョン

RDAと目録の書誌的宇宙

参考文献

- 1) 『RDA』：図書館をセマンティック・ウェブに適したものに. カレントアウェアネス CA1767 No.311 (2012.3)
(原著論文 Tillett, Barbara B. Keeping Libraries Relevant in the Semantic Web with RDA: Resource Description and Access. Serials. 2011, 24 (3) , p. 266-272)
- 2)新しい知識と情報の組織化：RDAの理念と実践. RDA Workshop Tokyo 2013 (B.B.ティレット氏によるワークショップ 2013.9.5-6 学習院女子大学)
- 3) FRBRからLRMへ：書誌情報に関わる新たな概念モデルについて (和中幹雄. 情報組織化研究グループ 2018.4.28 月例会)

1

0.はじめに

<https://www.rdatoolkit.org/about>



2

0.はじめに

RDAの依拠する概念モデル

- FRBR** (Functional Requirements for Bibliographic Records) 書誌レコードの機能要件
- + **FRAD** (Functional Requirements for Authority Data) 典拠データの機能要件
- + **FRSAD** (Functional Requirements for Subject Authority Data) 主題典拠データの機能要件
- + **PRESSoo** 継続して刊行される資料のためのモデル
- **IFLA LRM** (IFLA Library Reference Model) Aug. 2017
- **RDAの改訂 (June 2018 beta ver.)**

3

目次

1.目録規則が変わる (目録の世界観の変貌)

- ◆ 目録が変わる背景
- ◆ RDAの目次構成 (FRBR・LRMをベースとした概念モデル)
- ◆ 目録はどう変わるか/変わらないか：つながる目録に

2.RDAのメガネをかけてNACSIS-CATを見る

- ◆ FRBR・LRMの概念との類似
- ◆ リンク構造と変遷マップ

3.RDAの実装

4



写真：武蔵野美術大学図書館

1. 目録規則が変わる
(目録の世界観の変貌)

なぜ変わらなければならないのか

本日のテーマ：
「...新しい時代に大学図書館が提供する目録サービス」

そもそも「目録が必要か」、
「なぜ必要か」「なくてもいいか」

資料は図書館員・利用者の
カンで探せるか。
最低必要なことは何か。

より安く、より簡単に

目録は委託からロボットや人工
知能に変わるか・変わるのか

RDA素案に対するLC
ワーキンググループからの勧告"On the record"
2008.1

書誌コントロール

識別・同定上必要な考え方

書誌単位と典拠コントロール



羽田書店2020年刊
これを所蔵し
ているところを探
している

人の目で見れば、
これは違うもの



日本児童文学館 名著復刻 第2集

ku-librarians勉強会 2014.7.31
甲斐 重武氏 (当時京都大学附属図書館 事務部長)
"NACSIS-CAT30年の価値"
1図書1書誌ID - ルーチン業務に埋もれた宝 -

書誌コントロール

CiNii Books「グスコブドリの伝記」で91件ヒット
NACSIS-CATが1書誌IDを維持しているので、私
たちはこれが当たり前に見える

書誌単位

*2018.6.18.検索

<p>グスコブドリの伝記</p> <p>宮沢賢治著 羽田書店 1941.4 PTA文庫、日本童話文庫、2 所蔵部3部</p>	<p>グスコブドリの伝記 = A biography of Guss</p> <p>宮沢賢治著作；ますむらひろし作 メディアファクトリー 2008.9 MP3コミックス、宮沢賢治選集 所蔵部3部</p>	<p>グスコブドリの伝記：賢治に一番近い愛</p> <p>宮沢賢治著作；ますむらひろし編 朝日ソノラマ 1985.10 1冊 所蔵部4部</p>
<p>グスコブドリの伝記：童話</p> <p>宮沢賢治著 羽田書店 1941.4 所蔵部2部</p>	<p>グスコブドリの伝記</p> <p>宮沢賢治著、明島一雄訳 新書社 2008.9 新書CD 録音資料 (非音声) (CD) 所蔵部2部</p>	<p>グスコブドリの伝記：賢治に一番近い愛</p> <p>ますむらひろし編；宮沢賢治著作 朝日ソノラマ 1985.9 所蔵部12部</p>
<p>グスコブドリの伝記：童話</p> <p>宮沢賢治著 ほるろ出版 1974 日本児童文学館、名著復刻、第2 所蔵部13部</p>	<p>グスコブドリの伝記</p> <p>宮沢賢治著作；黒川清治編 リトルモア 2012.7 所蔵部30部</p>	<p>グスコブドリの伝記：特集</p> <p>宮沢賢治著 小学社 1985.11 宮沢賢治、第4集 所蔵部15部</p>
<p>グスコブドリの伝記</p> <p>宮沢賢治著作；明徳文庫 ポプラ社 2012.7 ポプラ社の絵本、13 所蔵部17部</p>	<p>グスコブドリの伝記：十二巻</p> <p>宮沢賢治著作；広津和博編 [電子書] (電子書籍) [119-] 所蔵部1部</p>	<p>グスコブドリの伝記：賢治の事務所；どんぐりと山猫</p> <p>宮沢賢治著作；ますむらひろし編 小学社 1985.7 小学社文庫、第1巻 所蔵部7部</p>
<p>グスコブドリの伝記</p> <p>宮沢賢治著作；堀尾有文編；滝平二郎編 集英社 1968.3 かみしばい児童読物叢書名作集、7 巻、後編 静止画像 (非動画) [いざねでもない] 所蔵部10部</p>	<p>グスコブドリの伝記：アニメ版</p> <p>宮沢賢治著作； 小学社 2012.6 所蔵部2部</p>	<p>グスコブドリの伝記</p> <p>宮沢賢治著作 小学社 1984.1 所蔵部2部</p>

『校本宮澤賢治全集』 <BN01607904> CW
第10巻には「グスコブドリの伝記」、
第11巻には「グスコブドリの伝記」が採録

書誌コントロール

NDL onlineだと“グスコブドリの伝記”で
233件ヒット。雑誌、雑誌記事、博士論文等
のを除くと139件、著者を限定すると88件

書誌単位

膨大なデータから識別、
特定するには...

著者	件数
宮沢賢治, 1896-1933	88
宮沢賢治 著	30
宮沢賢治 作	10
宮沢賢治 [著]	7
宮沢賢治 原作	5
ますむら, ひるし, 1952-	3
太田, 大八, 1918-2016	3

*2018.6.18.検索

9

書誌コントロール

識別・同定という考え方
書影・見た目で見られるか

書誌単位

Amazon
“グスコブドリの伝記”で74件ヒットしたが...



- ◆ 画像がない
- ◆ 同じ版が違う画像
- ◆ 同じ画像で異なるもの
- ◆ 販売元が異なる重複

Kindle版
どちらも0円

DVDもアマゾンビデオも
映画のチラシもこの画像

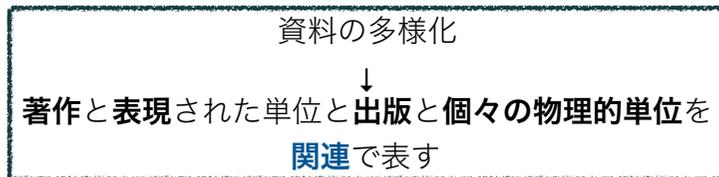
10

書誌コントロール ← 「実体関連分析」(E-R分析)

RDAの依拠する概念モデル

FRBR (Functional Requirements for Bibliographic Records) 書誌レコードの機能要件

IFLA LRM (IFLA Library Reference Model) Aug. 2017 → Dec. 2017 改訂
<https://www.ifla.org/publications/node/11412>



IFLA LRM was designed to be used in linked data environments and to support and promote the use of bibliographic data in linked data environments.
IFLA LRMは、リンクされたデータ環境で使用され、リンクされたデータ環境で書誌データの使用をサポートおよび促進するように設計されています。

11

RDA(2010.6)の背景 : B.ティレット氏

図書館に来なくても様々な
方法で資料を利用できる

「もし図書館を存続させるのであるならば、我々は図書館を利用者のニーズに合致したものにななければならない。ますます多くのサービスがウェブ上に存在するようになり、情報資源に関して必要なものは全てウェブ上にあると多くの人が期待している。」 1) 序文

天動説から地動説へ

AACR2の限界

12

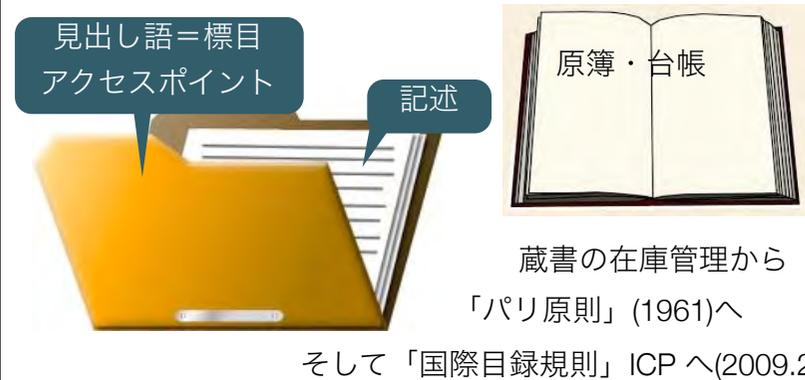
RDA(2010.6)の背景：何故AACR3ではないか？

1. **Anglo American** → 国際化(インターネットの普及で Anglo American という意味がなくなった。既に60か国以上で使われていた。多言語が当たり前。)
2. **Cataloging rule** (カード目録の考え)からの脱却=利用者から見た書誌レコードの機能要件 (FRBR)に基づいた考え方の再構築 → 関連で表現するセマンティックWeb
3. **多様な媒体**への対応... → これまでの資料媒体ごとの構成の限界

13

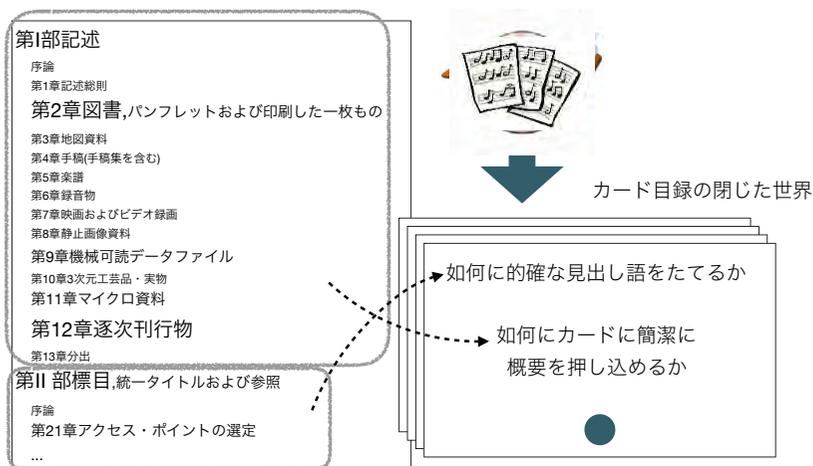
従来の「目録規則」のイメージ

現在のオンライン目録は、テキスト情報を直線的に表示したカード目録の電子バージョンにすぎない。1)



14

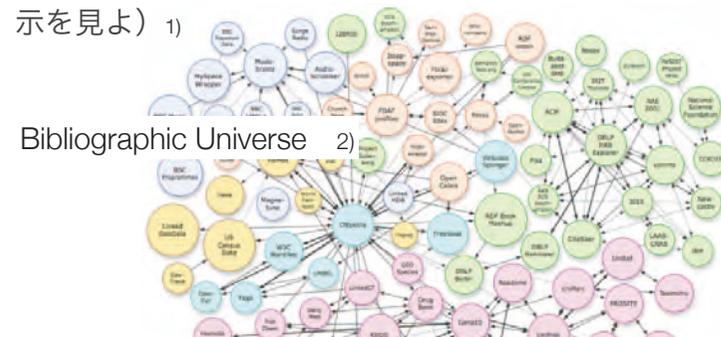
AACR2の枠組みの限界



15

関連で表現するセマンティックWebのイメージ

我々が提供するメタデータは、出版履歴の時間的変遷、出版地を示す世界地図等のような、さらに興味深い視覚的情報の中に再編集することができるだろう (VI AF の視覚的表示を見よ) 1)



VI AF: Virtual International Authority File 「バーチャル国際典拠ファイル」

16

「目録」のイメージを「書誌的宇宙」へと変換 2)

BOOKと本文との関連
(HathiTrust,
NDLデジタルコレクション...)

BOOKとArticlesの関連

前誌と後誌との関連



Bibliographic Universe

多様な情報キャリア



IDと識別子で繋がる =
関連で実体を意味付ける

BOOKと著者との関連

BOOKと古典籍データとの関連

包括タイトルと
内容著作タイトルの関連

17

実体・関連モデル Entity-relationship Model

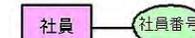
(実体と関連と属性で表現すること)

<https://ja.wikipedia.org/wiki/実体関連モデル>

Entity実体 Entity実体



Relationship関連



Attribute属性



Web上にメタデータを記述する
枠組みとしての目録
例)

RDF (Resource Description Framework)
Linked Open Data

Predicate
述語

Subject
主語

Object
目的語

18

RDA toolkit
2018.6.14-

実体
ENTITIES

- RDA Entity
- Work
- Expression
- Manifestation
- Item
- Agent
- Person
- Collective Agent
- Corporate Body
- Family
- Nomen
- Place
- Timespan

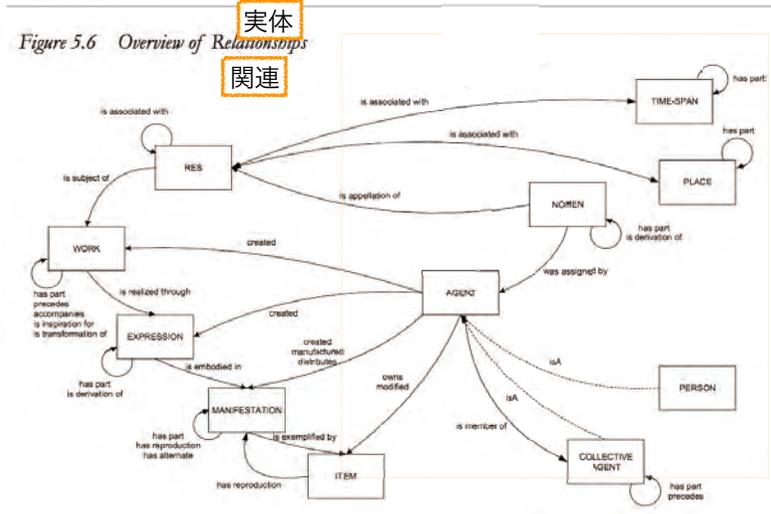
LRMのEntiteis の定義 (ラテン語) thing

- LRM-E1 Res
- LRM-E2 Work (著作)
- LRM-E3 Expression (表現形)
- LRM-E4 Manifestation (体現形)
- LRM-E5 Item (個別資料)
- LRM-E6 Agent (行為主体)
- LRM-E7 Person (個人)
- LRM-E8 Collective Agent (集合的行為主体)
- Corporate body (法人)
- Family (家族)
- LRM-E9 Nomen (名称)
- LRM-E10 Place (場所)
- LRM-E11 Time-span (時間)

19

IFLA-LRM

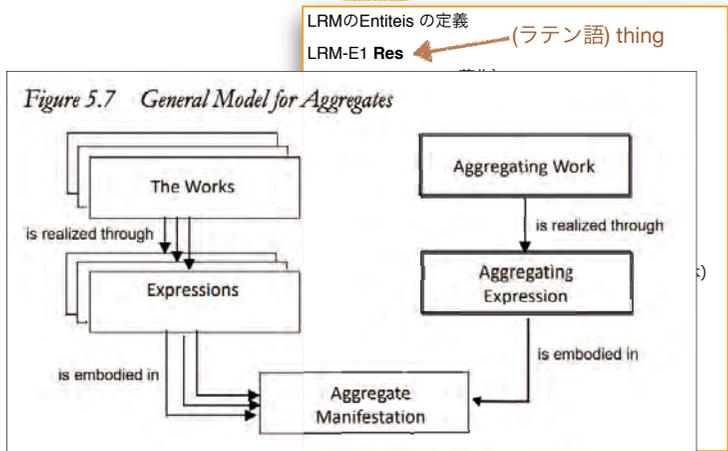
Figure 5.6 Overview of Relationships



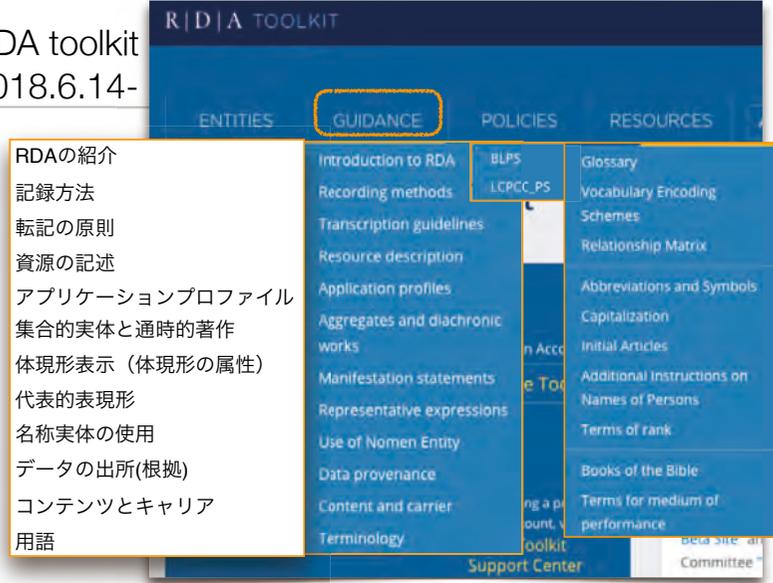
20

Aggregate IFLA-LRMの集成的実体

実体



RDA toolkit 2018.6.14-



実体：Work とは

『ハリーポッター』って最後はどうなるんだっけ？
『吾輩は猫である』を読んだことある？
クイズです。『銀河鉄道の夜』の著者は誰でしょう。

- Work 著作
- Expression 表現形
- Manifestation 体現形
- Item 個別資料

著作（漠然と作品を指し示す）²⁾
抽象的実体＝具体化されていない
アイデア
「個別の創造の知的・芸術的内容」
(LRM)

Uniform Title 「統一タイトル」に近い？ →
 □ID
 □Title preferred
 □Date
 □etc.

あらためて「Work」って何？

表現形のグループ化を可能にする抽象的な実体。
著作は概念的な対象で、著作として識別できるいかなる有形物もない。(LRM) => TXTL:und の「実体」

- Work 著作
- Expression 表現形
- Manifestation 体現形
- Item 個別資料

著作（漠然と作品を指し示す）²⁾
抽象的実体＝具体化されていない
アイデア=idea
「個別の創造の知的・芸術的内容」
(LRM)

従って、{Joanne Rowling's Harry Potter and the Philosopher's Stone}と
{Harry Potter and the Philosopher's Stone} [film, first release 2001]は別のWork

実体：Expression とは

『ハリーポッターと賢者の石』の日本語版 松岡祐子訳

Work 著作
Expression 表現形
Manifestation 体现形
Item 個別資料

表現形²⁾
著作が言語や版によって特定。
「知的・芸術的内容を伝達する
個別の記号の組み合わせ」(LRM)

記号学で 사용되는 "sign" 「記号」
→
記録する carrier (媒体) には特定されない
抽象的な実体

LRMでは、表現形の代表を示す = representative or "canonical"

25

実体：Manifestation とは

『ハリーポッターと賢者の石』 静山社 1999年 462p 22cm

Work 著作
Expression 表現形
Manifestation 体现形
Item 個別資料

体现形²⁾
出版事項や形態により特定される。
「知的・芸術的内容全般と物理的形態
の側面について同じ特性を共有すると
みなされる一連のすべてのキャリア。
そのセットは、一つまたは複数のキャ
リアコンテンツ全体をその生産計画の
両方によって定義される。」(LRM)

出版物理単位 →
逐次刊行物単位 →

26

実体：Item とは



うちにあるこの本

私の指

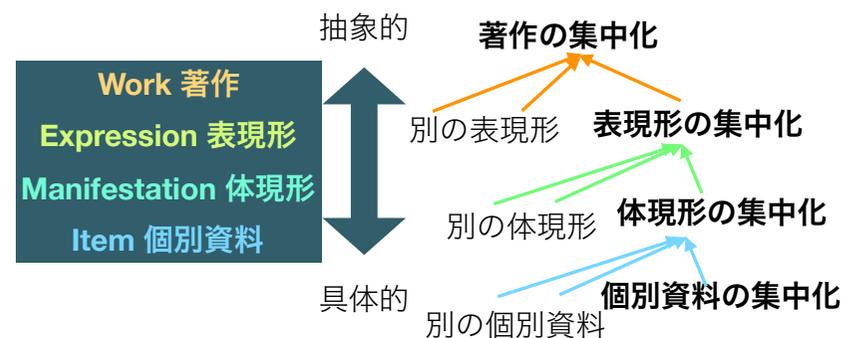
Work 著作
Expression 表現形
Manifestation 体现形
Item 個別資料

個別資料²⁾
個々の1冊1冊の本²⁾
「知的・芸術的内容の伝達を目的と
する一つまたは複数の物体」(LRM)

27

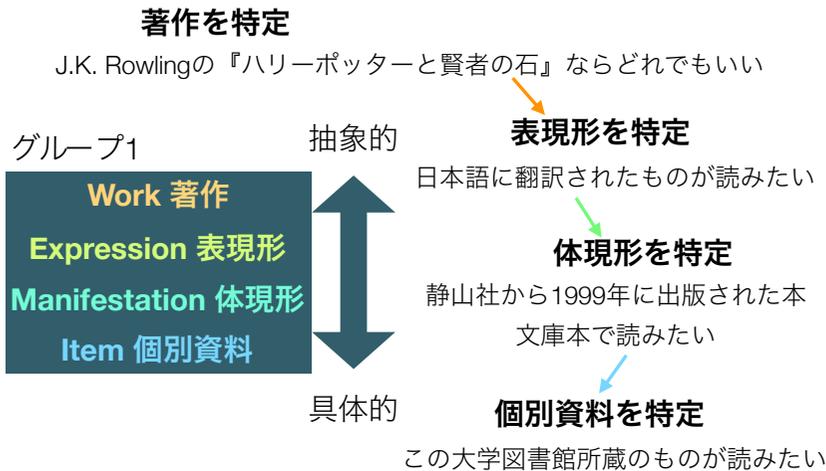
実体を概念化して捉える：FRBRの恩恵(1)集中化²⁾

自動的に継承することでカタログは楽になる



28

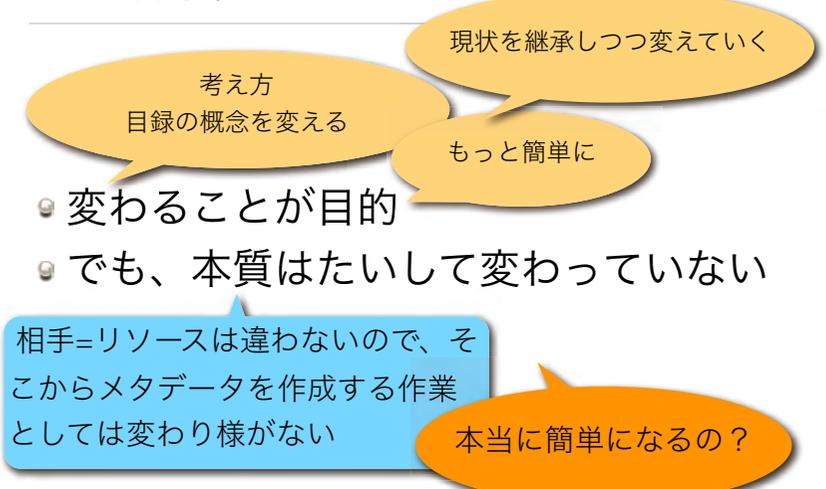
実体を概念化して捉える：FRBRの恩恵(2)貸出 ²⁾



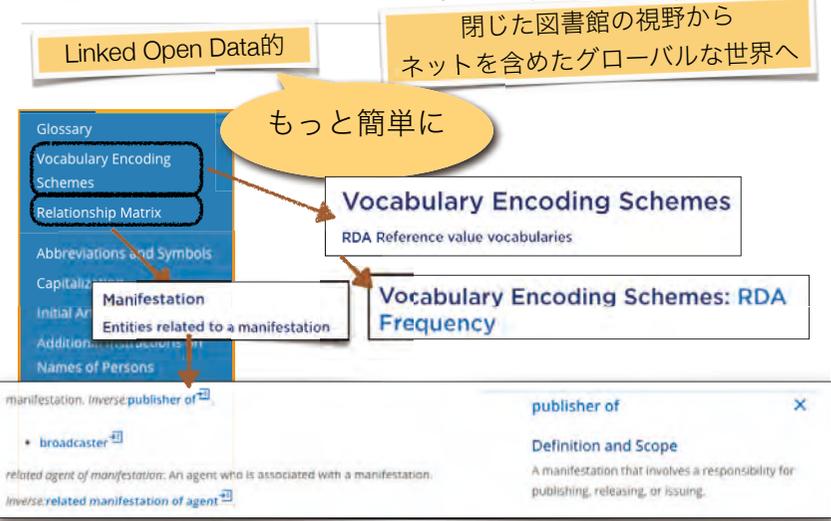
実体を概念化して捉える：FRBRの恩恵(1)集中化



RDAで目録業務はどう変わるか？



共通の元素セットを使う+関連を重視



目録業務はどう変わるか？

転記 = スキャンでいい

変わらない本質: 情報源から必要な書誌的要素を転記し, 構成する

より大事なのは
実体を関連づけること

Access アクセス

Description 記述

Resource 資源・情報源

著者は3人まで
略語の使用

そのまま書いてある
通りでいいよね。略語を覚
える必要はない!

転記の原則=30年前にRDAを
先取りしていた奇跡...

Bone digitalの時代

紙ベースの時代

33

どう変わるか: 私のイメージ

コード化情報を追加
C.M.4.0Dエ) 誤植の例
TR: Love and freindship [i.e. friendship] and other early works / Jane Austen

TR: Love & freindship and other early works : now first printed from the original ms. / by Jane Austen ; with a preface by G.K. Chesterton

転記の原則
スキャン
略語を覚える必要はない
大文字使用法

関連づけ
標目形=典拠形
標目形では「アクセスポイント」を定義

書誌データ要素の識別
記述文法

図等々

34

どう変わるか: Goals of RDA

2)

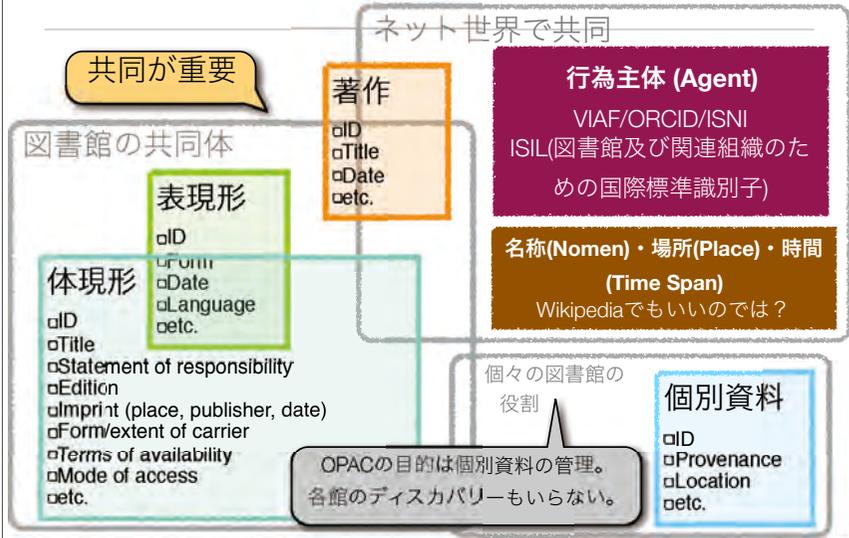
実はRDAはフォーマットを規定していない

ISBDの区切り記号や
MARC21フォーマット等

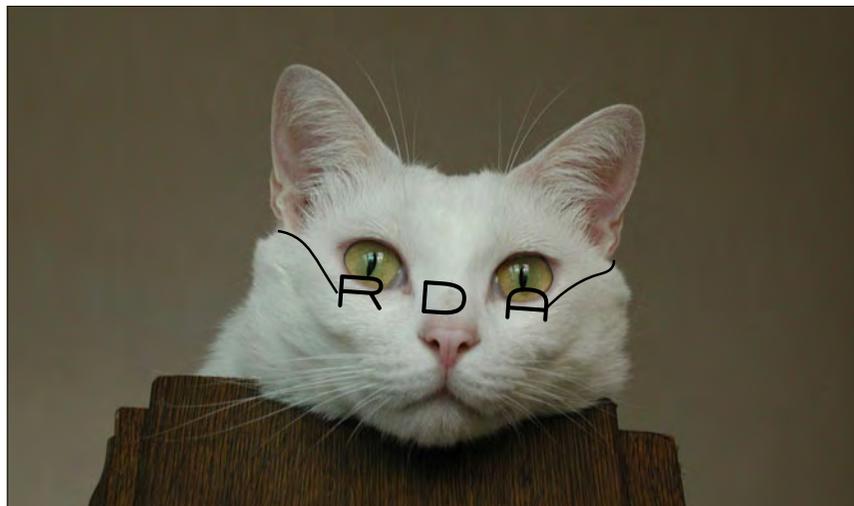
- 記述とアクセスに関する基準
- 現在のデジタル世界に則したデザイン
- オンライン, ネットワーク環境でも適用できること
- すべての種類のメディアに対しても, 効果的な書誌コントロールができること
- 図書館以外のコミュニティでの利用を促進すること
- 他の類似の基準との適用性があること
- 国際的に同意に達した原則に基づいた, 論理的な構造をもつこと
- コンテンツとキャリアのデータを別にもてること ...

35

どう変わるか: 私のイメージ



36



2.RDAのメガネをかけて
NACSIS-CATを見る

37

30年前にRDAを先取りしていた奇跡

◆FRBR・LRMの概念との類似点 (TXTL:und)

- 個別資料と体现形=出版物理単位, 表現形, 著作を定義
- 内容著作注記 (CW) と親書誌タイトル(PTBL)
- 転記の原則のAACR2例外の例外 (TR, PUB)

◆リンク構造と変遷マップ



38

書誌単位を定義するには、実体を定義

物理単位 = 「個別資料」を定義

解説 (物理単位, 出版物理単位, 書誌単位)

個々の資料の単位, すなわち, 破損しない限り一まとまりのものを**物理単位**と呼ぶ。この意味では, ある図書館の資料と別の図書館の資料, それぞれの資料の複本等は, 全て別の物理単位である。各参加組織のシステム, 特に閲覧, 貸出等のサブシステムにおいては, 物理単位の管理が問題となる。

しかし, 総合目録データベースという共有情報のレベルでは, 物理単位の情報をも保持した上で管理することは, 効率的ではない。

そこで, 物理単位の集まりを「複本」としてグループ化し, **出版物理単位**にまとめる。これにより, ある図書館の資料と別の図書館の資料, また, それぞれの複本同士は同一の出版物理単位として捉えることが可能になる。一方, ある資料の上巻と下巻は, 別の出版物理単位として捉えられる。

出版物理単位は「体现形」

書誌単位は, 同一の固有のタイトル等によってまとめられる**出版物理単位の集合**である。物理的に1冊の単行資料の場合, 書誌単位は出版物理単位と一致する。同一の固有のタイトルを有する上巻, 下巻の出版物理単位の集合は, 書誌単位である。

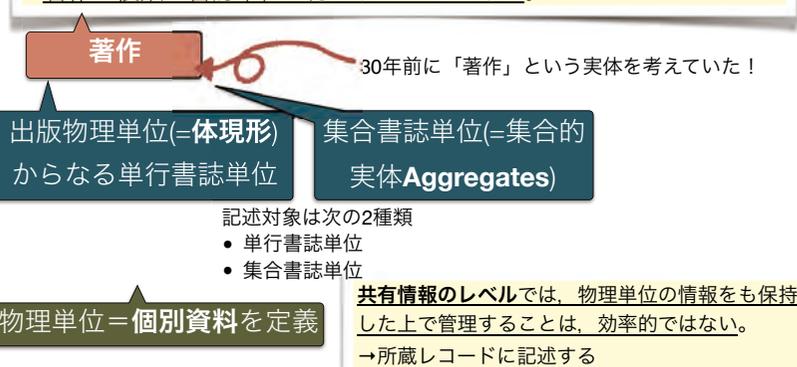
黄色はNACSISの『目録情報の基準』第4版から引用

39

著作の捉え方とFRBR・LRMの実体

なお, **著作**のタイトルは, 一般的には書誌単位の**固有のタイトル**とは別のものであり, 区別する必要がある。

一つの書誌単位には複数の著作が含まれることがあるし, 一つの著作が複数の書誌単位に分かれることがある。



40

内容著作注記CW Contents of Works

4.2.6C (フィールド内容とデータ要素)
C1 CWフィールドには、**構成部分である著作単位**について、巻冊次、タイトル、及び責任表示をデータ要素として記録する。

水色はNACSISの『コーディングマニュアル』から引用

実は、ここに収録されている著作・作品からも検索できるはず。

Analytical description 分析的記述



41

親書誌タイトルPTBL Parent Bibliographic Link

4.2 記述対象のとりえ方

黄色はNACSISの『目録情報の基準』第4版から引用

4.2.1 書誌単位
記述対象は次の2種類に分けられる。

1. 単行書誌単位
2. 集合書誌単位

物理的に複数の資料からなり、個々の資料が1と同様の観点から書誌的に他と区別でき、同時に全体としても共通のタイトル、著者等によって

この全体に対応する書誌的

集合書誌単位には、次の

- ・ シリーズ
- ・ 全集、講座等のセッ

RDA

Collective Title and Titles of Individual Contents

Choosing the title proper Facsimiles and reproductions

- ・ **Comprehensive description 包括的記述**
- ・ **Analytical description 分析的記述**

...

Record the titles of the individual contents as the titles of Manifestation: **related manifestation of manifestation** if considered important for identification or access. それぞれの体現形と体現形を関連づけする

42

転記の原則 TR(洋図書)

4.2.1F (データ記入及び記入例) F1(本タイトル)

本タイトルとなるものは、「基準」で規定されている「固有のタイトル」である。

本タイトルの記録に際しては、次のF1.1~F1.5に示す例外を除き、AACR2の規則1.1B及び2.1Bに準拠する。

カードの時代は省略するのが簡単
デジタル化の時代は省略しないのが簡単

F1.2

本タイトルが長い場合でも、システム上の不都合(フィールド長不足等)が生じない限りは、原則として本タイトルの短縮は行わない。やむを得ず短縮を行う場合は、その部分を省略符号で示し、短縮した内容をNOTEフィールドに記録する。(→ AACR2 1.1B4)

1.1B4.長い本タイトルは、不可欠な情報を損なわない場合に

Guidelines on basic transcription of a manifestation statement
Preserve the capitalization, punctuation, numerals, and diacritics as they appear on the manifestation. 表現形に表示されたままを転記する

43

転記の原則 TR

岡田智佳子. デジタル資源の活用を進め社会的学問的ニーズを満たす
目録としてのRDA (Resource Description & Access)の可能性について
— 東京大学経済学部資料室所蔵アダム・スミス文庫
NACSIS-CAT 書誌レコード修正作業を通して

東京大学経済学部資料室年報 7 (2017.3刊行)

“古い西洋の資料ゆえ、標題紙上の情報量が多すぎて、どこまでが本タイトルでどこからがタイトル関連情報なのか、記述要素の切り分けに苦慮した部分はあったものの、全体としてNACSIS-CATのデータ長の制限を超える文字数のものはありませんでした。”

44

NACSIS-CATのリンク構造と変遷マップ

もしかすると、世界で最初にRDAの理念を実現できるかも...

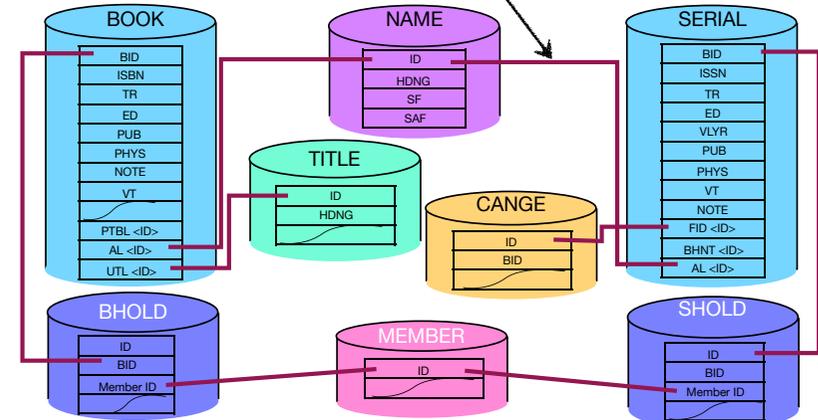
2013.10.18. IAAL ティレットさんを囲む会でのプレゼン資料



RDAのメガネをかけてNACSIS-CATをみると

NACSIS-CAT
データベース構造

リンク関係



RDAのメガネをかけてNACSIS-CATをみると

雑誌変遷マップの例

雑誌変遷マップ表示

Continuation Absorption Separation

FID:20051500 継続 吸収 派生

検索結果 13 件

- <AA0039839> The Atlantic monthly : a magazine of literature, science, art, and politics. -- Vol. 1, no. 1 (Nov. 1857)-.
- <AA11076746> The Critic. -- Vol. 1, no. 1 (Jan. 1861)-v. 4, no. 98 (Jan. 1884).
- <AA11061727> The Atlantic. -- v. 227, no. 6 (June 1971).
- <AA00126274> Critic and good literature.
- <AA11061738> The Atlantic monthly. -- Vol. 228, no. 1 (July 1971)-v. 247, no. 3 (Mar. 1981).
- <AA0012630X> The Critic. New series : a weekly review of literature, art and life.
- <AA10628166> The Atlantic. -- Vol. 247, no. 4 (Apr. 1981)-v. 272, no. 4 (Oct. 1993).
- <AA00348072> Putnam's monthly and the critic : a magazine of literature, art, and life. -- 1 (1906)-.
- <AA0010890899> The Atlantic monthly. -- Vol. 272, no. 5 (Nov. 1993)-v. 292, no. 5 (Dec. 2003).
- <AA00348061> Putnam's monthly. -- 1 (1907)-3 (1908).
- <AA11945095> The Atlantic. -- Vol. 293, no. 1 (Jan./Feb. 2004)-.
- <AA00348083> Putnam's monthly and the reader. -- 3 (1908)-5 (1909).
- <AA00348039> Putnam's magazine. -- 5 (1909)-7 (1909/1910).

NACSIS-CATをRDAに重ねてみる...

RDAのメガネをかけてCiNiiをみると



49

RDAのメガネをかけてCiNiiをみると



50



3.RDAの実装

Bibliographic Universe

51

RDA採用の動向 http://www.ndl.go.jp/jp/data/bib_newsletter/index.html

NDL書誌情報ニュースレター2016年2号(通号37号)

2016年6月28日発行
ISSN 1862-0468 / ISSN-L 1862-0468
編集 国立国会図書館収集書誌部
発行 国立国会図書館

「国際標準として受け入れられ、採用されるには、正確な翻訳と十分な研修が必要」

目次 [全文を読む \(PDF: 982KB\)](#)

- ウェブ環境に適した新しい書誌フレームワーク BIBFRAME (収集・書誌調整課 柴田洋子)
- 欧米国立図書館のRDA適用状況に関する調査報告 (国内資料課 吉家あかね)
- 世界のRDAの取組みのいま(8)ー中国(關西館 アジア情報課 齊藤まや)
- 世界のRDAの取組みのいま(9)ースペイン語圏(イペロアメリカ諸国を中心に) (国内資料課 鎌倉知美)
- 文字コード講座 第3回(第1)ー文字コードあれこれ(關西館 上野秀治)
- お知らせ 全国書誌データ・レファレンス協同データベース活用研修会を開催します(収集・書誌調整課)
- お知らせ 平成28年度遠隔利用者アンケートにご協力ください(収集・書誌調整課)
- お知らせ 雑誌記事索引データに登録する著者等の数を増やしました(逐次刊行物・特別資料課 索引係)
- お知らせ 国立国会図書館典拠データ検索・提供サービス(Web NDL Authorities)英語版を公開しました(収集・書誌調整課 書誌調整係)
- お知らせ 平成27年度書誌データ統計を掲載しました(収集・書誌調整課)
- 掲載情報紹介

52

RDA採用の動向 (翻訳)

<http://www.rdatoolkit.org/>



日本目録規則 2018年版

RDAの翻訳ではなく、独自の「目録規則」

第1部<総説>

第2部<属性>属性の記録とアクセスポイントの記録

第3部<関連>

<http://www.jla.or.jp/committees/mokuroku/tabid/committees/mokuroku/tabid/718/Default.aspx>
(2018.3.28公開)



FRBRモデルに忠実=RDAとの相互運用を重視

- ①典拠コントロールの位置づけ
- ②資料の内容的側面と物理的側面の整理
- ③関連の記録
- ④機械可読性の向上

FRBRがIFLA LRMに「すなわち、NCR2018年版は中長年に固定された規則ではありえず、刊行後も 不断の更新を続ける体制が必要である。」

渡邊隆弘 “新しい『日本目録規則』のすがた” 現代の図書館 55(4) 2017.12



予備版から大幅な変更は行わない(文言の修正は行う可能性がある) 章立てのみの項目は、本版においても未刊(保留のまま)

2018年4月~ 付録作成作業、全体調整・校正、冊子体編集
2018年12月ごろ 冊子体刊行、PDF形式(本版)公表

NDLの動向

http://www.ndl.go.jp/jp/data/bib_newsletter/index.html



LCのBIBFRAME移行プロジェクト (ALA Annual 2018)



RDA/RDF/Schema.org

CiNii Books - メタデータ・API - CiNii Books 図書・雑誌情報のRDF

目次

- CiNii Books図書・雑誌RDFのフォーマット仕様について
- フォーマット仕様
 - 図書書誌RDF
 - 雑誌書誌RDF
- 改訂履歴

CiNii Books図書・雑誌RDFのフォーマット仕様について

以下の書式のURIにアクセスすると、RDF/XML形式のデータを取得できます。取得できる情報は「CiNii Books 図書・雑誌情報のJSON-LD」と同様です。図書と雑誌でフォーマットが異なります。
<http://ci.nii.ac.jp/ncid/<ncid>.rdf> (例: <http://ci.nii.ac.jp/ncid/BB08796640.rdf>)

コンテンツネゴシエーションに対応しています。RDFのURIを指定しなくても、HTTPヘッダから判断してRDFを返します。図書・雑誌詳細表示画面(例: <http://ci.nii.ac.jp/ncid/BB08796640>)において、HTTPリクエストヘッダのAcceptフィールドにて「application/rdf+xml」の指定が他のどの指定よりも優先度が高い場合には、RDFのURIへ誘導します。

レスポンスの元のhttpヘッダに「Access-Control-Allow-Origin: *」を指定していますので、クロスドメイン間での非同期通信をご利用いただけます。

https://support.nii.ac.jp/ja/cib/api/b_ufd

CiNiiはRDAと同じ方向を向いていながら、RDAを意識していない

57

CAT2020のポイントは何？

大向一輝. CiNii Researchと大学図書館 (2018.6.18) Slide Shareより

大学図書館への期待

- データライブラリアン・データキュレーターの2つの方向性
- ドメイン指向
- つながり指向
 - どこにも存在していない情報をつくる
 - ID自体: DOI・ORCID・組織ID・プロジェクトID...
 - ID対ID: 論文とデータ・プロジェクトと成果物・人と人...
 - 異種リソース間リンクはPCOARスキーマでもサポート
 - 組織・機械・ユーザーのオーケストレーション

CiNiiはRDAと同じ方向を向いていながら、RDAを意識していない

WG議論の進展は、**軽量化・合理化**中心？
→運用ガイドライン

IDの再定義によってリソース間リンクを可能にする条件を整備することが設計者のポリシー

NIIとしては参加館に納得される**実用化**と期日目標を守ること

59

CiNiiの次の展開？

CiNii Researchと大学図書館 (2018.6.18) Slide Shareより

デジタル時代における人文学のオープンサイエンスの三角形2017
2018年7月6日 (金) 13:30~

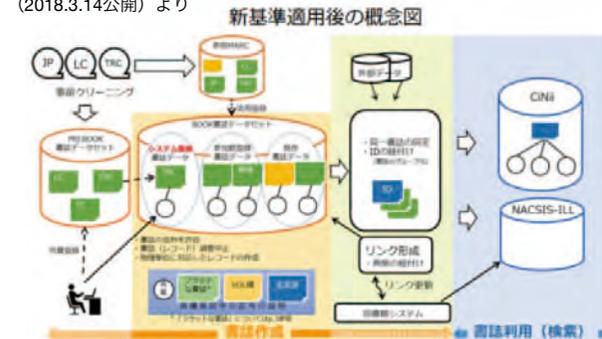
Missing Link

CiNiiはRDAと同じ方向を向いていながら、RDAを意識していない

58

CAT2020のポイントは何？

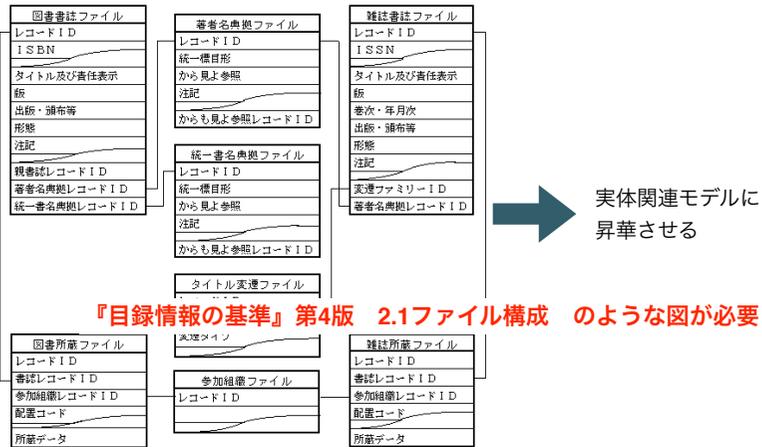
「NACSIS-CAT/ILLの軽量化・合理化について (実施方針)」からの変更について 2018.1.25 (2018.3.14公開) より



IDの再定義によってリソース間リンクを可能にする条件を整備すること？
これをどう**実用化**するか？

60

CAT2020のポイントは何？

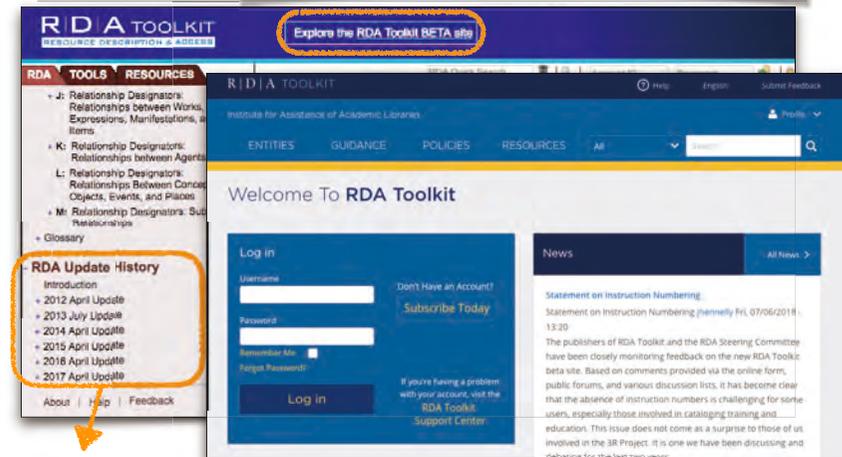


61

最後に...

RDA Toolkit

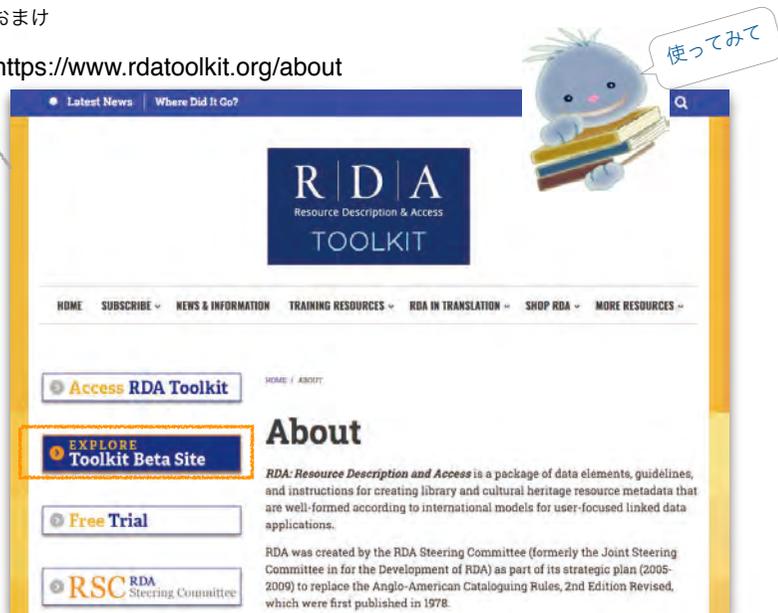
- RDAとNACSIS-CATの親和性
- 成長する有機体（2020がゴールではない）



62

おまけ

<https://www.rdatoolkit.org/about>



63